

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	基礎運動学	分野	基礎分野	講師名	佐々木 武人
単位数	2単位	履修学年	1年生	履修学期	2学期

授業方法	講義	実技	実習
------	----	----	----

授業目的	人間の身体運動を運動学・機能解剖学をベースに学び、専門基礎分野に繋げる。
授業内容	1 関節と運動の力学 2 姿勢とその異常 3 運動路と感覚路 4 反射と随意運動 5 脊柱・体幹の機能 6 健康帯・肩の機能 7 肘と前腕の機能 8 手と手指の機能 9 骨盤と股関節の機能 1 0 膝関節の機能 1 1 足の機能 1 2 正常歩行と異常歩行 1 3 顔面及び頭部の筋
到達目標	関節運動とてこの関連を理解する。脊柱と体幹、肩甲帯・肩関節、肘関節・前腕、手関節と手、骨盤と股関節、膝関節、足関節と足、それぞれの構造と運動を理解する。姿勢とその異常を理解する。
成績評価	知識内容を定期試験の成績と各講義の課題を加味して評価する。
教科書 教材	リハビリテーション医学 第4版
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	英語	分野	基礎分野	講師名	関井 純子
単位数	2単位	履修学年	1年生	履修学期	1学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	英語の必要性を理解し、積極的に修得しようとする意欲を高める。
授業内容	受付での英会話 書類の記入・基本検査・案内 治療・受付での会話 その他の会話 (読解) 海外における鍼灸治療、経絡・経穴、鍼灸治療、肩こりの鍼灸治療 スポーツ鍼灸、美容鍼灸
到達目標	鍼灸師として必要な基礎的な英会話ができるようになる。
成績評価	1. 筆記テスト (小テスト10点×3回) 2. スピーキングテスト (面接形式70点)
教科書 教材	自作のプリント使用 参考文献：東洋医学で英語を学ぶ (医歯薬出版) 他 ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項
備考	評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	コミュニケーション学	分 野	基礎分野	講 師 名	根田 真江
単 位 数	2単位	履 修 学 年	1 年 生	履 修 学 期	3 学 期

授業方法 講義 ・ 実技 ・ 実習

授業目的	修得した知識や技能を効率的に発揮し、社会に自分らしく主体的にコミットできる力の修得を目指す。
授業内容	コミュニケーションとは 人の発達 自己理解 他者理解 コミュニケーションの技法
到達目標	コミュニケーションに関する理論学習とグループワークを中心とした学習により理解を深める。
成績評価	小レポート (50%) と学習態度 (10%)、定期試験 (40%) の成績を総合して評価する。
教科書教材	「コミュニケーション学」の教科書を基に、配布資料、グループワーク補助資料を使用
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】
	有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	解剖学 I	分野	専門基礎分野	講師名	郡山 秀一
単位数	3単位	履修学年	1年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	医学を学ぶ上での基礎となる人体の構造と機能について、人体の構成と運動器系を理解することにより、今後の学習を理解する上での基盤を構築する。
授業内容	<p>細胞の構造と機能 人体の構成・人体の区分 組織の概要</p> <p>1. 骨格系 1. 上皮下組織 2. 結合組織 3. 脊柱 4. 上肢の骨格 5. 下肢の骨格 6. 頭蓋骨 7. 関節</p> <p>筋系</p> <p>1. 筋系総論 2. 体幹の筋 3. 上肢の筋 4. 頭頸部の筋</p>
到達目標	細胞の構造と機能について理解する。 人体の構成・人体の区分について理解する。 組織の概要について理解する。 骨格系について理解する。 筋系について理解する。
成績評価	客観試験（筆記試験）の結果を主に、出席状況、授業態度を加味して評価する。
教科書 教材	配付資料、教科書（解剖学）、骨模型、筋模型など
備考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p> <p>評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	生理学 I	分 野	専門基礎分野	講 師 名	三條 敏也
単 位 数	3単位	履修学年	1年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	人体の機能について基礎的知識を習得する。各器官系の反応・調節・統合などを学び、生命現象に対する理解を深める。				
授業内容	1.生理学の基礎 2.体液、血液 3.循環 4.呼吸器系 5.消化と吸収 6.栄養 7.体温 8.腎臓 講義形式で実施、教科書を補足するプリントを作成して配付する。適宜、問題演習を行う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生理学の基礎について理解する ・循環について理解する ・消化と吸収について理解する ・体温について理解する ・体液、血液について理解する ・呼吸器系について理解する ・栄養について理解する ・腎臓について理解する 				
成績評価	定期試験の成績、出席状況及び提出課題などを加味して評価する。				
教科書	【教科書】生理学（東洋療法学校協会編、医歯薬出版）、【参考書】新看護生理学テキスト（深井喜代子など編、南江堂）、Qシリーズ新生理学（竹内昭博著、医事新報社）				
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。				
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無				

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	臨床医学総論	分野	専門基礎分野	講師名	佐々木 香奈
単位数	3単位	履修学年	1年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	医療面接技法、診察法、症候を把握し、患者を理解し、正しく診断して適切な医療を行なえるようにする。
授業内容	医療面接、全身の診察、各部の診察、神経系検査、臨床検査などについて学ぶ。 教科書を中心に作成したプリントを配布し前週の内容より授業前半に確認テストを行なう。
到達目標	診察法、症候などの正しい知識を身に付け適切な医療を施せるようにする。
成績評価	定期試験の成績を最重視して評価する。
教科書 教材	臨床医学総論、作成したプリント
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ <u>無</u> 【内容】

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	臨床医学各論 I	分野	専門基礎	講師名	加納 舞
単位数	1単位	履修学年	1年生	履修学期	3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	鍼灸臨床の現場で見られる疾患を中心に、原因、疫学傾向、症状、治療、予防等を現代医学的見地から総合的に理解することを目的とする。
授業内容	・ 感染症、整形外科疾患、婦人科・皮膚科・耳鼻科・眼科・小児科・精神科・心療内科領域
到達目標	代表的な疾患の原因、疫学傾向、症状、治療、予防等について総合的に理解することができる。
成績評価	期末試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。
教科書 教材	臨床医学各論 [第2版] (医道の日本社) 適宜プリントを配布する。
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無
	【内容】

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	衛生学 公衆衛生学	分野	専門基礎分野	講師名	田沢 光正
単位数	1単位	履修学年	1年生	履修学期	1学期
授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習				

授業目的	医療従事者として必要な健康や保険に関する衛生観念を幅広く学ぶ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生学の歴史や意義について理解することができる。 ・ 健康の定義や考え方について述べる事ができる。 ・ 生活環境と健康の関係について述べる事ができる。 ・ 代表的な日本の公害について述べる事ができる。
成績評価	定期試験の成績により評価する。
教科書 教材	衛生学・公衆衛生学 第2版 (医歯薬出版)
備考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p> <p>評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>
実務経験	【担当教員の实務経験の有無】 有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	衛生学 公衆衛生学	分野	専門基礎分野	講師名	柿坂 昌美
単位数	2単位	履修学年	1年生	履修学期	2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	医療従事者として必要な健康や保険に関する衛生観念を幅広く学ぶ。	
授業内容	1. 産業保健 2. 精神保健 3. 母子保健 4. 成人・高齢者保健 5. 感染症対策 6. 消毒法 7. 疫学 8. 保健統計	
到達目標	1. 産業保健について理解できる 2. 精神保健について理解できる 3. 母子保健について理解できる 4. 成人・高齢者保健について理解できる 5. 感染症対策について理解できる 6. 消毒法について理解できる 7. 疫学について理解できる 8. 保健統計について理解できる	
成績評価	定期試験の成績により評価する。	
教科書教材	衛生学・公衆衛生学 第2版 (医歯薬出版)	
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。	
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無	

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	医療概論	分野	専門基礎分野	講師名	佐々木 香奈
単位数	1単位	履修学年	1年生	履修学期	1学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	①医療・医学の歴史を知る。②西欧近代医学と東洋医学相互の関連について学ぶ。 ③すべての医療従事者に要求される倫理について学ぶことを目的とする。
授業内容	西洋と東洋に医学と医療の歴史を学ぶ。現代の医療制度、医学の課題を学ぶ。 医療従事者の倫理を学ぶ。
到達目標	医療倫理と理解し、現代の医療制度を理解し、西欧近代医学と東洋医学の違いを知ることを目標とする。
成績評価	定期試験の成績を最重視して評価する。
教科書 教材	医療概論教科書、作成したプリント
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点)、 C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無
	【内容】

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	社会保障制度及び職業倫理	分野	専門基礎	講師名	加納 舞
単位数	1単位	履修学年	1年生	履修学期	2学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	<p>社会保障制度を学び、ケースに応じた社会資源の活用方法を理解する。 医療人及び鍼灸師としての職業倫理を身に付ける。</p>
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障制度概論 (社会保障の考え方、歴史、しくみ、種類) 、 医療保険制度、介護保険制度、様々な分野における鍼灸師の役割 ・ 医療倫理、施術者の倫理、ケーススタディ (グループワーク)
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の社会保障制度を理解し、説明することができる。 ・ 施術者の倫理を正しく理解し、ケースに応じた対応を自ら考え、他者と話し合うことができる。
成績評価	<p>期末試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。</p>
教科書教材	<p>社会あはき学 (医道の日本社) 適宜プリントを配布する。</p>
備考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>
実務経験	<p>【担当教員の实務経験の有無】 有 ・ <input type="radio"/> 無</p>
	<p>【内容】</p>

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	東洋医学概論 I	分野	専門分野	講師名	設楽 雄介
単位数	3単位	履修学年	1年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 講義 ・ 実技 ・ 実習 </div>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋医学について親しむ。 ・ 東洋医学の基礎（生理、病理、証、陰陽五行など）を自分で説明する事が出来るようにする。 ・ 東洋医学的疾患の見方「証」を学び、基本的な「証」をたてられるようにする。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用教室 普通教室を使用。 ・ 1学期 第1章東洋医学の特徴、第2章生理と病理 蔵象（心）を学ぶ。 ・ 2学期 第2章生理と病理 蔵象（小腸）から同 五臓関連領域までを学ぶ。 ・ 3学期 第2章生理と病理 五臓関連領域までを学ぶ。 ・ 前回要点の確認小テストを行う。 ・ また4～5回毎に振り返りを行い、学習効果を高める。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋医学について親しみ、東洋医学の基礎（生理、病理、証、陰陽五行など）を自分で説明する事が出来る。 ・ 東洋医学的疾患の見方「証」を学び、基本的な「証」をたてることが出来る。
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小テスト、試験をもって評価する。
教科書材	<p>教科書：東洋医学概論、経絡経穴概論、ほかプリントを適宜配布する。</p> <p>※教科書 174～179ページは各臓腑の学習と共に説明する。</p> <p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p>
備考	<p>評価について：試験の点数及び小テストを勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>
実務経験	【担当教員の实務経験の有無】 有 ・ 無
	【内容】

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	経絡経穴概論 I		分野	専門基礎	講師名	加納 舞
単位数	3単位	履修学年	1年生	履修学期	1・2・3学期	
授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習					

授業目的	鍼灸施術に特有な経絡および経穴の働き・意義・効果を理解し、東洋医学及び西洋医学両面から経穴の部位を修得することを目的とする。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経絡経穴の基礎、要穴について、十二経脈、奇経八脈、奇穴、経絡現象 ・ 経穴の取穴方法、解剖的部位の把握 ・ 経穴の臨床的意義
到達目標	経穴の意義を理解し、正しく取穴ができ、臨床に応用できる。
成績評価	期末試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。
教科書教材	経絡経穴概論 (医道の日本社) 適宜プリントを配布する。
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無 【内容】

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	はり実技	分野	専門分野	講師名	加納 舞
単位数	3単位	履修学年	1年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	講義	実技	・	実習
------	----	----	---	----

授業目的	安全性と衛生操作を理解した基礎的な鍼の操作方法を修得し、的確な人体への刺鍼技能の習得を目的とする。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ はり施術上の注意事項、消毒法 ・ 鍼の基礎実技（片手挿管、管鍼法、旋撚刺法・送り込み刺法、水平刺・直刺・斜刺） ・ 人体への刺鍼（下腿、上肢、腰背部、肩背部、頭部、顔面部） ・ 特殊鍼法（灸頭鍼、鍼通電療法）
到達目標	安全で衛生的な人体への刺鍼ができる。
成績評価	実技試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。
教科書教材	<p>はりきゆう実技（基礎編） ・ 経絡経穴概論（医道の日本社）</p> <p>適宜プリントを配布する。</p>
備考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p> <p>評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>
実務経験	<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p> <p>【内容】</p> <p>鍼灸師として京都府内で1年間出張開業した経験有り。 鍼灸師として京都府内大学附属鍼灸センターにて2年間臨床経験有り。 鍼灸師として京都府内介護福祉施設にて2年間臨床及び学生実習指導経験有り。</p>

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	きゅう実技	分野	専門分野	講師名	土屋 幸久
単位数	3単位	履修学年	1年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	講義	実技	・	実習
------	----	----	---	----

授業目的	灸術の基礎を身につけ、患者に対して安全に施灸できる技術を習得することを目的とする。 正確に経穴を取穴し、施灸する技術を身につけることを目的とする。
授業内容	艾の扱い方を学び、米粒大、半米粒大の艾炷を作成。紙上での施灸、自己下腿への施灸 対人への施灸、対人への二点三壯を行う。
到達目標	正確に取穴し、安全に患者に施灸できることを目的とする。
成績評価	定期試験の成績と各講義の課題を加味して評価する。
教科書 教材	はりきゅう実技（基礎編）・経絡経穴概論
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、 C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無 【内容】 鍼灸師として東京医療専門学校附属治療院にて2年間施術に従事。 盛岡医療福祉専門学校附属施術所にて鍼灸師として2年間施術に従事。 平成27年4月～千葉県にて訪問鍼灸

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	臨床実習 I	分野	専門分野	講師名	土屋 幸久
単位数	1単位	履修学年	1年生	履修学期	1・2・3学期
授業方法	講義 実技 実習				

授業目的	<p>体表解剖と筋骨指標を学ぶと共に、視診・触診・取穴の基礎技術を修得する。 鍼灸施術見学を行い、座学知識も臨床に生かすことを目指す。</p>
授業内容	<p>実技形式とし、毎回ペアを替えながら体表解剖、触診、指標、取穴等を学ぶ。 専任講師5人それぞれの実技実演を見学し、臨床における流れを学ぶ。</p>
到達目標	<p>体表解剖を理解し、取穴の指標になる骨・筋指標を正確に触ることが出来る。 専任講師の施術を見学し、臨床の現場での流れを把握する。</p>
成績評価	<p>普段の出席状況、授業態度、毎授業レポートの提出を課す。</p>
教科書教材	<p>解剖学、経絡経穴概論、リハビリテーション医学</p>
備考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p> <p>評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>
実務経験	<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p> <p>【内容】</p> <p>鍼灸師として東京医療専門学校附属治療院にて2年間施術に従事。 盛岡医療福祉専門学校附属施術所にて鍼灸師として2年間施術に従事。 平成27年4月～千葉県にて訪問鍼灸</p>

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	解剖学Ⅱ	分野	専門基礎分野	講師名	小野寺 悟
単位数	1単位	履修学年	2年生	履修学期	1学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	内臓系（呼吸器、消化器、泌尿器、生殖器、内分泌、循環器）の基本構造を理解する。
授業内容	教科書を中心に、過去問、模型、ビデオ等の教材を用いて行う。 毎回授業の初めに、前回の授業内容に基づいた小テストを行う。
到達目標	呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、内臓と自律神経系、循環器系の理解を深める。
成績評価	定期試験と小テストの成績を吟味して評価する。
教科書 教材	解剖学 第2版
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無
	無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	解剖学Ⅱ	分野	専門基礎分野	講師名	柿坂 昌美
単位数	2単位	履修学年	2年生	履修学期	2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	内臓系（神経系、感覚器、運動器、）の基本構造を理解する。				
授業内容	1. 神経系 2. 感覚器 3. 運動器				
到達目標	1. 神経系について理解する 2. 感覚器について理解する 3. 運動器について理解する				
成績評価	定期試験と小テストの成績を吟味して評価する。				
教科書教材	解剖学 第2版				
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。				
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無				

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	生理学Ⅱ	分野	専門基礎分野	講師名	三條 敏也
単位数	3単位	履修学年	2年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	----------------------------------------------------------------------------------------------

授業目的	人体の機能について基礎的知識を習得する。各器官系の反応・調節・統合などを学び、生命現象に対する理解を深める。
授業内容	1. 内分泌 2. 生殖 3. 神経系 4. 末梢神経 5. 中枢神経のシナプス伝達 6. 神経伝達物質、脳神経 7. 脊髄神経 8. 中枢神経 9. 自律神経 10. 骨格筋 11. 運動神経と骨格筋 12. 脊髄による運動調節 13. 脳幹反射 14. 下行性伝導路 15. 感覚 講義形式で実施し、教科書を補足するプリントを作成して配付する。適宜、問題演習を行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内分泌について理解する ・ 生殖について理解する ・ 神経系について理解する ・ 末梢神経のシナプス伝達について理解する ・ 神経伝達物質、脳神経について理解する ・ 脊髄神経について理解する ・ 中枢神経について理解する ・ 自律神経について理解する ・ 骨格筋について理解する ・ 運動神経と骨格筋について理解する ・ 脊髄による運動調節について理解する ・ 脳幹反射について理解する ・ 下行性伝導路について理解する ・ 感覚について理解する
成績評価	定期試験の成績、出席状況及び提出課題などを加味して評価する。
教科書 教材	【教科書】生理学（東洋療法学校協会編、医歯薬出版）、【参考書】新看護生理学テキスト（深井喜代子など編、南江堂）、Qシリーズ新生理学（竹内昭博著、医事新報社） ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項
備考	評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】
	有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	病理学	分野	専門基礎	講師名	加納 舞
単位数	3単位	履修学年	2年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	疾病の概念を明らかにするため、疾病の原因と細胞の変化など病理の基礎を理解することを目的とする。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・病理学の基礎、病因、循環障害、退行性変性、進行性病変、炎症、腫瘍、免疫・アレルギー、先天性異常
到達目標	疾病の成り立ちおよび機序を理解し、説明することができる。
成績評価	期末試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。
教科書教材	病理学 (医道の日本社) 適宜プリントを配布する。
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の实務経験の有無】 有 ・ 無
	【内容】

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	臨床医学各論Ⅱ	分野	専門基礎	講師名	加納 舞
単位数	3単位	履修学年	2年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	講義	実技	・	実習
------	----	----	---	----

授業目的	鍼灸臨床の現場で見られる疾患を中心に、原因、疫学傾向、症状、治療、予防等を現代医学的見地から総合的に理解することを目的とする。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代謝性疾患、リウマチ性疾患・膠原病、血液疾患、心臓疾患、内分泌疾患、呼吸器疾患、肝・胆・膵疾患、神経疾患、外科・麻酔科領域
到達目標	代表的な疾患の原因、疫学傾向、症状、治療、予防等について総合的に理解することができる。
成績評価	期末試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。
教科書教材	臨床医学各論【第2版】(医道の日本社) 適宜プリントを配布する。
備考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p> <p>評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無
	【内容】

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	リハビリテーション 医学	分 野	専門基礎分野	講 師 名	佐々木 香奈
単 位 数	2単位	履 修 学 年	2年生	履 修 学 期	1・2学期

授 業 方 法	講義 ・ 実技 ・ 実習
---------	--------------

授 業 目 的	医療的、教育的、社会的、職業的分野からリハビリとはどういうものかを学ぶ。 総論的分野から入り、後半は各疾患に対するリハビリを学ぶ。
授 業 内 容	総論的リハビリテーションを学び、各疾患に対してのリハビリテーションを学ぶ。 教科書を中心に作成したプリントを配布し前週の内容より授業前半に確認テストを行なう。
到 達 目 標	リハビリテーションとは何かを正しく理解し各疾患において正しいリハビリテーションができるようにする。
成 績 評 価	定期試験の成績を最重視して評価する。
教 科 書 材	リハビリテーション医学教科書、作成したプリント
備 考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	東洋医学概論Ⅱ	分野	専門分野	講師名	郡山 秀一
単位数	2単位	履修学年	2年生	履修学期	1・2学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	東洋医学の特徴を振り返りつつ、証決定の手順・方法を理解することにより、その弁証結果から基本的な治法が導き出せるようにし、患者の全体像を把握できるように学習を行う。
授業内容	第5章 弁証論治 1. 弁証 2. 論治 3. 弁証論治の進め方と証の決定
到達目標	証を決定するための手順を理解する。 基本的な病証に対する治法を理解する。 基本的な病証の証を決定し、その病因病機を把握する。
成績評価	客観試験（筆記試験）の結果を主に、出席状況、授業態度を加味して評価する。
教科書 教材	配付資料、教科書「東洋医学概論」（医道の日本社） 参考書「針灸学基礎編」「針灸学臨床篇」（東洋学術出版社） ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項
備考	評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ <u>無</u>

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	はりきゆう理論 I	分野	専門分野	講師名	土屋 幸久
単位数	3単位	履修学年	2年生	履修学期	1・2学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	鍼術・灸術の基礎知識（道具の種類、名称、使い方）、術式（特殊鍼法含む）、臨床応用、リヌク管理について理解を深めることを目的とする。 鍼灸治療の治効機序・治効理論について学び、生理学の知識と合わせ説明できるようになることを目的とする。
授業内容	教科書、その他にプリントを作成して配布。
到達目標	鍼灸それぞれの基礎知識を得て、鍼術・灸術の臨床応用、リヌク管理について述べることができる。 鍼灸の治効機序を把握し、その効果や関連する学説について述べることができる。
成績評価	定期試験の成績と各講義の課題及び出席状況を加味して評価する。
教科書教材	はりきゆう理論・生理学・経穴経絡概論
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無 【内容】

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	東洋医学臨床論 I	分野	専門分野	講師名	郡山 秀一
単位数	3単位	履修学年	2年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	東洋医学概論、経絡経穴概論などで学んだ考え方や知識を統合化し、主要症候についてその診察の仕方とポイント、鑑別のポイント、治療方針の定め方や選穴配穴と処方決定等について学習を行う。
授業内容	治療総論 治療各論 治療各論 治療各論 頭痛～胸痛 腹痛～運動麻痺 高血圧症～老年医療における鍼灸療法
到達目標	教科書の主要症候を痛み系統、呼吸器系統、消化器系統、循環器系統、泌尿器系統、生殖器系統、その他に再分類し、それぞれの系統別角度から主要症候に対してアプローチを理解できるようにする。 自分で治療方針を立て、それを説明することができる。
成績評価	客観試験（筆記試験）の結果を主に、出席状況、授業態度を加味して評価する。
教科書 教材	配付資料、教科書「東洋医学臨床論」（医道の日本社）、参考書「針灸学臨床篇」（東洋学術出版社）
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	関係法規 I	分野	専門分野	講師名	佐々木 香奈
単位数	1単位	履修学年	2年生	履修学期	3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	法律とは医療従事者になるにあたり禁止、罰則だけの取り締まりではなく社会における人の権利、人権を守ることが目的であることを知る。
授業内容	法とは何か、あはきに関する法律を理解する、医療従事者として医事法規、医療制度を理解する。
到達目標	法とは何かを理解し国家試験を含め将来の業務などに必要と考えられる法令を網羅する。
成績評価	定期試験の成績を最重視して評価する。
教科書 教材	関係法規教科書、作成したプリント
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	はりきゅう実技 I	分野	専門分野	講師名	佐々木 香奈
単位数	3単位	履修学年	2年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	講義	実技	・	実習
------	----	----	---	----

授業目的	各疾患に対し東洋医学、西洋医学両方から治療ができる技能を習得することを目的とする。
授業内容	東洋医学臨床教科書の疾患にそって模擬カルテを使い東洋医学的な証をたて治療する。さらに鍼灸の特殊療法なども学ぶ。
到達目標	自分なりの治療方針をたて鍼灸をもって治療ができることを目標とする。
成績評価	灸試験、定期試験の成績を評価する。
教科書 教材	東洋医学臨床論教科書、経絡経穴学教科書、作成したプリント
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無 【内容】 北東北東洋医療専門学校、盛岡医療専門学校の附属鍼灸院で15年間勤務した経験有り。

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	はりきゆう実技Ⅱ	分野	専門分野	講師名	設楽 雄介
単位数	3単位	履修学年	2年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・鍼灸師が遭遇しやすい運動器疾患を中心に、疫学を学び発生の仕組みを理解。 ・その疾患について鑑別・除外できる検査法を実践できるようにする。 ・鍼灸師が扱う事が出来る疾患については、基礎的な施術を可能にする。 ・鍼灸師が扱う事が出来ない疾患を学び、医療機関紹介を行なえるようにする。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・使用教室 実技室を使用。 ・1学期 腰部、頸肩腕症候群（胸郭出口症候群）まで学ぶ。 ・2学期 頸肩腕症候群（末梢神経麻痺）から膝疾患（オスグッド）までを学ぶ。 ・3学期 膝疾患（たな障害）からスポーツ障害までを中心とする。 ・教員による疾患学習後、学生同士がペアになり体表解剖、障害部位の確認を行なう。また、互いに鍼灸施術を行い、基礎的な施術方法の修得を行なう。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・鍼灸師が遭遇しやすい運動器疾患を中心に、疫学を学び発生の仕組みを理解できる。 ・その疾患について鑑別・除外できる検査法を実践できる。 ・鍼灸師が扱う事が出来る疾患については、基礎的な施術が出来る。 ・鍼灸師が扱う事が出来ない疾患を学び、医療機関紹介を行なう事ができる。
成績評価	<p>実技試験 主に患者症例問題を中心とした疾患鑑別、徒手検査法の実演と意義の説明出席状況、選穴と理由解説、刺鍼施灸実技の各項目を評価する。</p>
教科書 教材	<p>教科書：解剖学、リハビリテーション医学、臨床医学総論、臨床医学各論、経絡経穴概論 東洋医学概論、東洋医学臨床論 ほか、プリントを配布する。</p>
備考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>

実務経験	【担当教員の実務経験の有無】	有 ・ 無
	【内容】	<p>鍼灸師として東京都の鍼灸接骨院で2年間勤務、その後、埼玉県で開業経験有り。 自転車世界大会トレーナーとして参加中。</p>

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	臨床実習前施術実技	分 野	専 門 分 野	講 師 名	設 楽 雄 介
単 位 数	1単位	履 修 学 年	2年生	履 修 学 期	3学期

授 業 方 法	講 義 ・ 実 技 ・ 実 習
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

授 業 目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校外一般の鍼灸院でのマナー、対応、ルールを再確認し、身につけられる。 ・ 来院患者対応、注意事項説明、問診、検査が出来るようになる。 ・ 収集した情報から、現代医学的疾患鑑別、東洋医学的「証」を立てられる。 ・ 施術方針、施術内容を決定できるようになる。 ・ 基本的施術と衛生操作、効果判定、患者注意事項説明ができるようになる。
授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用教室 実技室／臨床実習施設を使用。 ・ 頸肩腕痛、腰下肢痛、肩関節痛、膝痛、他について実施する。
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校外一般の鍼灸院でのマナー、対応、ルールを再確認し、身につける。 ・ 来院患者対応、注意事項説明、問診、検査ができる。 ・ 収集した情報から、現代医学的疾患鑑別、東洋医学的「証」を立てる事ができる。 ・ 施術方針、施術内容を決定できる。 ・ 基本的施術と衛生操作、効果判定、患者注意事項説明ができる。
成 績 評 価	<p>実技試験 授業目的に設定した内容を通して実技実演を実施。 全項目に関する口頭試験を行い評価する。</p>
教 科 書 材	<p>教科書：解剖学、リハビリテーション医学、臨床医学総論、臨床医学各論、経絡経六概論 東洋医学概論、東洋医学臨床論 ほか、プリントを配布する。</p>
備 考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。</p>
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無
	<p>【内容】 鍼灸師として東京都の鍼灸接骨院で2年間勤務、その後、埼玉県で開業経験有り。 自転車世界大会トレーナーとして参加中。</p>

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	臨床実習Ⅱ	分野	専門分野	講師名	郡山 秀一
単位数	1単位	履修学年	2年生	履修学期	3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	----------------------------------------------------------------------------------------------

授業目的	<p>良好な患者－施術者関係を構築するために必要なコミュニケーション能力を身につける。また、医療面接に関する基本的な知識・技術・態度を多くのロールプレイを通じて身につけることで豊かな臨床能力を育成することを目標とする。</p>
授業内容	<p>医療面接概論 医療面接（カルテについて含む） 講義 ロールプレイシミュによる医療面接シミュレーション授業</p>
到達目標	<p>医療面接の4つの要素（尋ねる、聴く、答える、観察する）について述べる事ができる。 患者心理を理解しながら、患者に対して適切な態度で接することができる、かつ基本的傾聴を行うことができる。 現病歴と主訴の詳細等について聞くことや十問診を聞くことができ、最終の要約をすることができ、診察への導入ができる。</p>
成績評価	<p>レポート、筆記試験の結果を主とし、出席状況、授業態度等を加味して評価する。</p>
教科書材	<p>配付資料、テキスト（鍼灸臨床における医療面接）、ホワイトボード、パソコンなど</p>
備考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p> <p>評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>
実務経験	<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>
	<p>【内容】</p> <p>あはき師として東京都内の施術所と岩手県内の付属鍼灸院で5年間勤務した経験有り。</p>

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	臨床実習Ⅲ	分野	専門分野	講師名	設楽 雄介 加納 舞
単位数	3単位	履修学年	2年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	----------------------------------------------------------------------------------------------

授業目的	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉施設の見学を通して、介護サービスの実際を理解する。 スボーツ現場で鍼灸師の選手対応を見学し有資格者トレーナー活動を理解する。 各現場で、鍼灸師としてどんな対応をすべきか、可能な事は何か、考えられる。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> 事前学習使用教室 普通教室、実技室、臨床実習施設を使用。 事前に介護福祉入居利用者、スボーツ選手の特性や心理、対応方法を学習する。 各施設まで出向き実地の見学実習を行なう。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 介護福祉施設の見学を通して、介護サービスの実際を理解する。 スボーツ現場で鍼灸師の選手対応を見学し、有資格者トレーナー活動を理解する。 夫々の現場で、鍼灸師としてどんな対応をすべきか、可能な事は何か、考えられる。
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> 普段の出席状況、授業態度、毎授業レポートの提出を課す。 また、鍼灸師がとるべき対応をデイスカッションさせ、総合的に判断する。
教科書 教材	<p>教科書：解剖学、リハビリテーション医学、臨床医学総論、臨床医学各論、経絡経穴概論 東洋医学概論、東洋医学臨床論 ほか、プリントを配布する。</p> <p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p>
備考	<p>評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>
実務経験	<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p> <p>【内容】</p>

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	生命科学	分野	基礎分野	講師名	菊池 進
単位数	2単位	履修学年	3年生	履修学期	1学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	生命現象の理解を深め、医学の基礎を学ぶ。
授業内容	生理学の基礎 循環・呼吸 消化と吸収 栄養と代謝 体温 教科書と補充プリントを用い、プレゼンテーションを併用して講義を行う。
到達目標	生理学の基礎部分をはじめ、循環器・呼吸器・消化器・代謝などの生命活動に伴った現象に対する機能について理解を深める。
成績評価	定期試験の成績により評価する。
教科書 教材	生理学 改訂第3版、 配付プリント
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ <u>無</u>

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	生命科学	分野	専門基礎分野	講師名	田沢 光正
単位数	4単位	履修学年	3年生	履修学期	2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	医療従事者として必要な健康や保健に関する衛生概念を幅広く学ぶ。
授業内容	1. 衛生学・公衆衛生の歴史、活動と意義、健康の概要 2. 健康管理 ライフスタイルと健康 3. 環境と健康 産業保健 4. 精神保健、成人・高齢者保健 5. 疫学 6. 健康統計 7. 感染症 8. 消毒 9. 公衆衛生学の定義・歴史・活動、健康の概 念・管理、衛生行政、医療、倫理 10. ライフスタイルと健康、環境と健康 11. 環境と健康 12. 疫学、保健統計 13. 感染症、消毒 教科書に基づき講義、及び配付する練習問題とまとめのプリントを行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生学、公衆衛生学の意義と概要について理解することができる。 ・ 健康とライフスタイルの関係について理解することができる。 ・ 精神保健について理解することができる。 ・ 環境と健康について理解することができる。 ・ 疫学、感染症について理解することができる。
成績評価	定期試験の成績により評価する。
教科書 教材	衛生学・公衆衛生学 第2版 医歯薬出版
備考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p> <p>評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>
実務経験	【担当教員の实務経験の有無】 有 ・ (無)

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	解剖学Ⅲ	分野	専門基礎分野	講師名	設楽 雄介
単位数	1単位	履修学年	3年生	履修学期	1学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	主要症候の病態生理を理解する上で必要とされる人体の構造の内容に関して理解を深める。
授業内容	1. 人体の構造 2. 体幹・上肢・下肢の骨 3. 体幹・上肢・下肢の筋
到達目標	1. 人体の構造についての理解を深める。 2. 体幹・上肢・下肢の骨についての理解を深める。 3. 体幹・上肢・下肢の筋についての理解を深める。
成績評価	定期試験の成績と各講義の課題を加味して評価する。
教科書 教材	【教科書】解剖学 配付プリント
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の实務経験の有無】 有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	解剖学Ⅲ	分野	専門基礎分野	講師名	柿坂 昌美
単位数	1単位	履修学年	3年生	履修学期	2学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	主要症候の病態生理を理解する上で必要とされる人体の構造の関連して理解を深める。
授業内容	1. 消化器系・泌尿器系 2. 生殖器系・内分泌系 3. 呼吸器系 4. 神経系・脳
到達目標	1. 消化器系・泌尿器系についての理解を深める。 2. 生殖器系・内分泌系についての理解を深める。 3. 呼吸器系についての理解を深める。 4. 神経系・脳についての理解を深める。
成績評価	定期試験の成績と各講義の課題を加味して評価する。
教科書 教材	【教科書】解剖学 配付プリント
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	生理学Ⅲ	分野	専門基礎分野	講師名	高島 浩一郎
単位数	2単位	履修学年	3年生	履修学期	2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	生理学の教科書後半について、身体の各部分の働きと仕組みを学ぶ。 後半部分と関連がある場合には、教科書の前半の内容についても理解を深める。
授業内容	1. 泌尿器 2. 内分泌 3. 生殖 4. 神経 5. 自律神経系 6. 筋 7. 運動 8. 感覚 9. 防御・調節 10. 基礎・血液 11. 循環 12. 呼吸 13. 消化・代謝 14. 体温・排泄 15. 内分泌・生殖 16. 神経 17. 筋・運動 18. 感覚 19. 防御・調節 講義と問題を解く作業を授業ごとに行う。 視聴覚教材をできるだけ多く利用する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泌尿器について理解する ・ 内分泌について理解する ・ 生殖について理解する ・ 神経について理解する ・ 自律神経系について理解する ・ 筋について理解する ・ 運動について理解する ・ 感覚について理解する ・ 防御、調節について理解する ・ 基礎、血液について理解する ・ 循環について理解する ・ 呼吸について理解する ・ 消化、代謝について理解する ・ 体温、排泄について理解する ・ 内分泌、生殖について理解する ・ 神経について理解する ・ 筋、運動について理解する ・ 感覚について理解する ・ 防御、調節について理解する
成績評価	定期試験の成績と各講義の課題を加味して評価する。
教科書教材	生理学
備考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p> <p>評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	臨床医学各論Ⅲ	分野	専門分野	講師名	設楽 雄介
単位数	2単位	履修学年	3年生	履修学期	1・2学期

授業方法	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 講義 ・ 実技 ・ 実習 </div>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年次で学習した臨床医学各論の内容を復習すると共に、国家試験の通常四択問題と患者症例問題に備えられるようにする。 ・臨床で遭遇する疾患の鑑別精度向上の為に知識をつける。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一般教室を使用。 ・1学期 第1章～第13章までの範囲で基礎的な部分を復習する。 ・2学期 第1章～第13章までの範囲で難易度が高い問題や盲点となる部分を再度復習する。 ・授業冒頭で先週の復習問題を実施する。 ・その後、実施予定章の実力試し4択問題を実施。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年次で学習した臨床医学各論の内容を復習すると共に、国家試験の通常四択問題と患者症例問題に備えることができる。 ・臨床で遭遇する疾患の、鑑別精度を向上できる。
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・試験をもって評価する。
教科書 教材	<p>教科書：臨床医学各論。但し、適宜 解剖学、リハビリテーション医学、臨床医学総論なども参照する。ほか、プリントを配布する。</p> <p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p>
備考	<p>評価について：試験の点数及び小テストを勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無
	【内容】

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	経絡経穴概論Ⅲ	分野	専門分野	講師名	土屋 幸久
単位数	1単位	履修学年	3年生	履修学期	1学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	1年時の内容で国家試験の頻発問題になる横並びを再度確認。要穴の四肢の経穴と筋肉、主要な神経血管の位置関係について前腕、上腕、下肢と部位に分け述べる
授業内容	プリントを作成して配布。 板書にて要点の確認、練習問題にて国家試験対策を行う。
到達目標	横並び、要穴をすべて暗唱できる。 筋肉や神経、血管と経穴の関係を把握し答えることができる
成績評価	定期試験の成績と各講義の課題を加味して評価する。
教科書 教材	経絡経穴概論、解剖学
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無 【内容】

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	はりきゆう理論Ⅱ	分野	専門分野	講師名	設楽 雄介
単位数	1単位	履修学年	3年生	履修学期	3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ はりきゆうの基本知識と過誤、副作用、衛生注意事項等を復習する。 ・ 鍼灸効理論を復習し、国家試験に備える。
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用教室 普通教室を使用。 ・ 前回要点の確認小テストを毎回行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ はりきゆうの基本知識と過誤、副作用、衛生注意事項、鍼灸効理論を復習し、国家試験に備えることができる。
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試験をもって評価する。
教科書 教材	教科書：はりきゆう理論、ほかプリントを適宜配布する。
備考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p> <p>評価について：試験の点数及び小テストを勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>
実務経験	<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p> <p>【内容】</p>

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	東洋医学臨床論Ⅱ	分野	専門分野	講師名	郡山 秀一
単位数	1単位	履修学年	3年生	履修学期	3学期

授業方法	講義 実技 ・ 実習
------	--------------------------------------------------------------------------------------------

授業目的	東洋・西洋医学の様々な科目で学んだ考え方や、知識を統合化する必要があるのが東洋医学臨床論である。国家試験においても多く出題される本科目を、問われる内容を中心にトレーニングを行う。
授業内容	診断と治療 診察と記録 症候・疾患に対するアプローチ 高齢者に対する施術
到達目標	患者の病態把握・治療方針決定において必要となる基礎知識は何なのかがわかる。どのよう学習を進めていけばいいのかがわかる。
成績評価	客観試験（筆記試験）の結果を主に、出席状況、授業態度を加味して評価する。 (卒業試験 東洋医学臨床論平均点)
教科書 教材	配付資料、教科書「東洋医学概論」「東洋医学臨床論」(医道の日本社) 参考書「針灸学臨床篇」(東洋学術出版社)
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A(80点以上)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	関係法規Ⅱ	分野	専門基礎分野	講師名	郡山 秀一
単位数	1単位	履修学年	3年生	履修学期	3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	将来、鍼灸師として業務に従事する上で必要な法律・関係法規などの解釈とそれらに関係する事例など修得したことを再確認し、トレーニングを行う。
授業内容	医療関係・薬事関係法規 保健衛生関係法規 社会福祉関係法規 社会保険各法規
到達目標	法律とは何か、理解することができる。 「はり師・きゅう師等に関する法律」について、熟知し説明することができる。 はき法やはき業務とつながりのある関係法規について理解し、はき業務との関連について述べる事ができる。
成績評価	客観試験（筆記試験）の結果を主に、出席状況、授業態度を加味して評価する。 (卒業試験 東洋医学臨床論平均点)
教科書教材	配付資料、教科書（関係法規）
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無
	(無)

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	はりきゆう実技Ⅲ	分野	専門分野	講師名	佐々木 香奈
単位数	1単位	履修学年	3年生	履修学期	1学期

授業方法	講義 実技 ・ 実習
------	--------------------------------------------------------------------------------------------

授業目的	これまで学習してきた知識・技術の基礎を確認し、臨床に沿った形式で基礎技術の向上を目的とする。				
授業内容	授業内容 ・腰痛、腰下肢痛 ・膝痛 ・頸腕痛 ・肩関節痛	技能 ・診察過程の概略 ・治療方針の立て方 ・治療技術の習得 ・患者への対応			
到達目標	1. 身体各部への刺激と施灸 ・治療を意識して的確な取穴と連続的な刺激と施灸を手際よく安全に行なうことができる 2. 各種鍼法 ・症状や部位に応じて美容鍼などが手際よく安全に行うことができる。				
成績評価	灸試験、定期実技試験の成績により評価する。				
教科書 教材	【教科書】 東洋医学臨床論、経絡経穴学、東洋医学概論 プリント				
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。				
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無				
	【内容】 鍼灸師として岩手県内の鍼灸院で15年間勤務した経験有り。				

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	はりきゆう実技Ⅲ	分野	専門分野	講師名	柿坂 昌美
単位数	2単位	履修学年	3年生	履修学期	2・3学期

授業方法	講義 実技 ・ 実習
------	--------------------------------------------------------------------------------------------

授業目的	これまで学習してきた知識・技術の基礎を確認し、臨床に沿った形式で基礎技術の向上を目的とする。				
授業内容	授業内容 ・腰痛、腰下肢痛 ・膝痛 ・頸腕痛 ・肩関節痛	技能 ・診察過程の概略 ・治療方針の立て方 ・治療技術の習得 ・患者への対応			
到達目標	1. 身体各部への刺鍼と施灸 ・治療を意識して的確な取穴と連続的な刺鍼と施灸を手際よく安全に行なうことができる 2. 各種鍼法 ・症状や部位に応じて美容鍼などが手際よく安全に行うことができる。				
成績評価	多試験、定期実技試験の成績により評価する。				
教科書 教材	【教科書】 東洋医学臨床論、経絡経穴学、東洋医学概論 プリント				
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。				
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無				
	【内容】 鍼灸師として岩手県内の接骨院で10年間勤務した経験有り。				

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	臨床実習	分野	専門分野	講師名	郡山 秀一
単位数	1単位	履修学年	3年生	履修学期	1・2学期
授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習				

授業目的	学生自らが患者の抱える諸問題を考察して施術・アドバイスし、その過程で学生自身の問題点を見つけ、解決する姿勢を身に付けることを目的とした学習を行う。
授業内容	医療面接概論と技法（ロールプレイングによるシミュレーション実技授業） 肩と腰の疾患について（実技）
到達目標	患者さんに対する施術者としての態度とは何かを理解できている。 医療面接を実践することができる。 自分で考え出した治療方針に基づいて治療することができる。 わかりやすくまとめられたカルテの記載ができる。 ホスピタリティーの気持ちを持って対応できる。
成績評価	レポート、筆記試験の結果を主とし、出席状況、授業態度等を加味して評価する。
教科書 教材	配付資料、教科書「東洋医学概論」「東洋医学臨床論」（医道の日本社） 参考書「針灸学臨床篇」（東洋学術出版社）「鍼灸臨床における医療面接」（医道の日本社） ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項
備考	評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無
	【内容】 あはき師として東京都内の施術所と岩手県内の付属鍼灸院で5年間勤務した経験有り。

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	特別講義 I	分野	専門分野	講師名	柿坂 昌美
単位数	1 単位	履修学年	3 年生	履修学期	3 学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	<p>主要症候の病態生理を理解する上で必要とされる人体の構造の内容に関して理解を深める。</p>
授業内容	<p>1. 神経系・伝導路 2. 末梢神経・脳神経 3. 循環器系</p>
到達目標	<p>1. 神経系・伝導路についての理解を深める。 2. 末梢神経・脳神経についての理解を深める。 3. 循環器系についての理解を深める。</p>
成績評価	<p style="text-align: center;">定期試験の成績と各講義の課題を加味して評価する。</p>
教科書 教材	<p>【教科書】解剖学 配付プリント</p>
備考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p> <p>評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>
実務経験	<p>【担当教員の实務経験の有無】 有 ・ 無</p>

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	特別講義Ⅱ (病理学)	分野	専門基礎分野	講師名	三條 敏也
単位数	1単位	履修学年	3年生	履修学期	1学期
授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習				

授業目的	人体の病気（疾患）の概念や病気のメカニズム（病態）を学ぶ。病理学各論については主要な疾患の基礎的知識を習得する。
授業内容	1. 病理学の意義、疾病について、疾病の一般 2. 病因 3. 循環障害 4. 進行性病変 5. 炎症 6. 腫瘍の一般 7. 免疫異常、アレルギー 8. 先天性異常 講義形式で実施し、教科書を補足するプリントを作成して配付する。 適宜、問題演習を行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・病理学の意義、疾病について、疾病の一般について理解する ・病因について理解する ・循環障害について理解する ・進行性病変について理解する ・炎症について理解する ・腫瘍の一般について理解する ・免疫異常、アレルギーについて理解する ・先天性異常について理解する
成績評価	定期試験の成績、出席状況及び提出課題などを加味して評価する。
教科書 教材	【教科書】病理学概論（東洋療法学校協会編、医歯薬出版）、【参考書】新体系看護学全書① 病理学（深山正久編集、メヂカルフレンド社）、Qシリーズ新病理学（桜井勇監修、医事新報社） ※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項
備考	評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	総合医学特論 I	分野	専門分野	講師名	佐々木 香奈
単位数	3単位	履修学年	3年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">講義</div> ・ 実技 ・ 実習

授業目的	臨床医学総論、リハビリテーション医学の内容を理解できているか再確認し、応用できる力を身に付ける。
授業内容	臨床医学総論（医療面接、全身の診察、各部の診察、神経系検査、臨床検査）、リハビリテーション医学（総論的内容、各疾患のリハビリのあり方）を確認し、テストを行ない理解する。
到達目標	臨床医学総論、リハビリテーションとは何かを正しく理解し応用して治療にいかせるようにする。
成績評価	定期試験の成績を最重視して評価する。
教科書 教材	臨床医学総論教科書、リハビリテーション医学教科書、作成したプリント
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無 【内容】

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	総合医学特論Ⅱ	分野	専門分野	講師名	土屋 幸久
単位数	2単位	履修学年	3年生	履修学期	2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	国家試験（午前）の総合的な問題を解くことにより、本番での解答速度アップ及び苦手科目目の再確認をし、本番に望む準備を行う。はりきゆう理論の総復習を実施し、鍼術、灸術の基礎知識を確認する。鍼灸と生理学の関連性について熟知することを目的とする。
授業内容	講義及びプリント
到達目標	国家試験（午前）の総合的な問題を解くことにより、国家試験本番での解答速度アップすることができる。繰り返し問題を解くことにより、苦手科目目の把握と苦手単元の確認をすることができる。
成績評価	定期試験の成績と各講義の課題を加味して評価する。
教科書教材	はりきゆう理論、臨床医学各論、病理学
備考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無 【内容】

平成31年度 シラバス【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科目名	東洋医学特論 I	分野	専門分野	講師名	土屋 幸久
単位数	3単位	履修学年	3年生	履修学期	1・2・3学期

授業方法	講義 ・ 実技 ・ 実習
------	--------------

授業目的	<p>1,2年時の東洋医学概論の総復習を行い、基礎理論の習得を目的とする。旧東洋医学概論の教科書の内容を確認し、さらに東洋医学の表現や単語を習熟することを目的とする。</p> <p>併せて経絡経穴の確認も適宜行い、重要項目の確認をすることを目的とする。</p>
授業内容	<p>新・旧教科書の共通点、不足点の確認を行う。国家試験対策として練習問題を配布。板書による重要点確認を行う。</p>
到達目標	<p>東洋医学の基礎知識を理解し、読解力と正確に解答する力をつけ 国家試験に対応することができる。</p>
成績評価	<p>定期試験の成績と各講義の課題を加味して評価する。</p>
教科書 教材	<p>東洋医学概論、東洋医学臨床論、経絡経穴概論</p>
備考	<p>※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項</p> <p>評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>
実務経験	<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>
	<p>【内容】</p>

平成31年度 シラバス 【鍼灸学科】

盛岡医療福祉専門学校

科 目 名	東洋医学特論Ⅱ	分 野	専門分野	講 師 名	郡山 秀一
単 位 数	2単位	履 修 学 年	3年生	履 修 学 期	1・2学期

授 業 方 法	講義 ・ 実技 ・ 実習
---------	--------------

授 業 目 的	東洋医学・西洋医学の様々な科目で学んだ考え方や、知識を統合化し、国家試験で問われる内容を中心に知識の結び付けを図り、臨床での対応を深めるための学習を行う。
授 業 内 容	教科書で紹介されている主要症候（治療各論）について、診察の仕方とポイント、証決定の手順と方法、鑑別のポイント、治療方針の定め方、治療方針に基づく選穴、配穴についてトレーニングを行う。
到 達 目 標	各症例トレーニングを参考にしながら、自分なりの診察スタイル、診察の流れが作れるようになる。 自分で治療方針を立て、それに基づいた処方を作成し、その選穴、配穴、治療目的について説明することができる。
成 績 評 価	客観試験（筆記試験）の結果を主に、出席状況、授業態度を加味して評価する。
教 科 書 材	配付資料、教科書「東洋医学概論」「東洋医学臨床論」（医道の日本社） 参考書「針灸学臨床篇」（東洋学術出版社）
備 考	※評価についての注記、必要な予習等についての特記事項 評価について：期末試験の点数及び出席率を勘案し、A（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。
実務経験	【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無